



住江織物株式会社



# 2014年5月期第2四半期 決算概況

証券コード: 3501  
(東証一部上場)



- 1 表紙
- 2 目次
- 3 2014年5月期第2四半期(2013/6~2013/11) 連結業績
- 5 2014年5月期第2四半期 売上高と営業利益の状況
- 6 連結業績の事業セグメント別内訳
- 7 インテリア事業
- 8 自動車・車両内装事業
- 10 機能資材事業
- 11 連結B/S
- 12 減価償却費および設備投資
- 13 在庫の状況および有利子負債
- 14 2014年5月期連結見通し
- 15 連結業績の推移
- 16 2014年5月期 連結セグメント別見通し
- 17 株主配当について
- 18 中期3ヵ年経営計画“Global Evolution 2015”
- 20 ECOS®が「LCA日本フォーラム奨励賞」を受賞
- 21 自動車内装事業の海外展開
- 24 太陽電池向けシリコンウエハ加工事業を開始

## ●Profit and Loss Statement

(単位:百万円)

	当第2四半期	前年同期	前年同期比		期初計画	期初計画比	
			(%)	(増減額)		(%)	(増減額)
売上高	43,928	39,163	12.2%	4,764	42,000	4.6%	1,928
営業利益	1,551	923	67.9%	627	1,060	46.3%	491
営業利益率	3.5%	2.4%			2.5%		
経常利益	1,898	1,087	74.6%	811	1,350	40.6%	548
経常利益率	4.3%	2.8%			3.2%		
当期純利益	973	625	55.8%	348	850	14.6%	123
当期純利益率	2.2%	1.6%			2.0%		

為替レート (JPY/USD)	当第2四半期	前年同期	期初計画
		97.75	77.60

## 連結累計期間

売上高 **439**億28百万円

営業利益 **15**億51百万円

経常利益 **18**億98百万円

当期純利益 **9**億73百万円

### 国内

政府の経済対策・金融政策効果を背景に円安と株高が進行し、企業の収益改善や個人消費の持ち直しの動きが見られる等、景気は回復傾向となった。

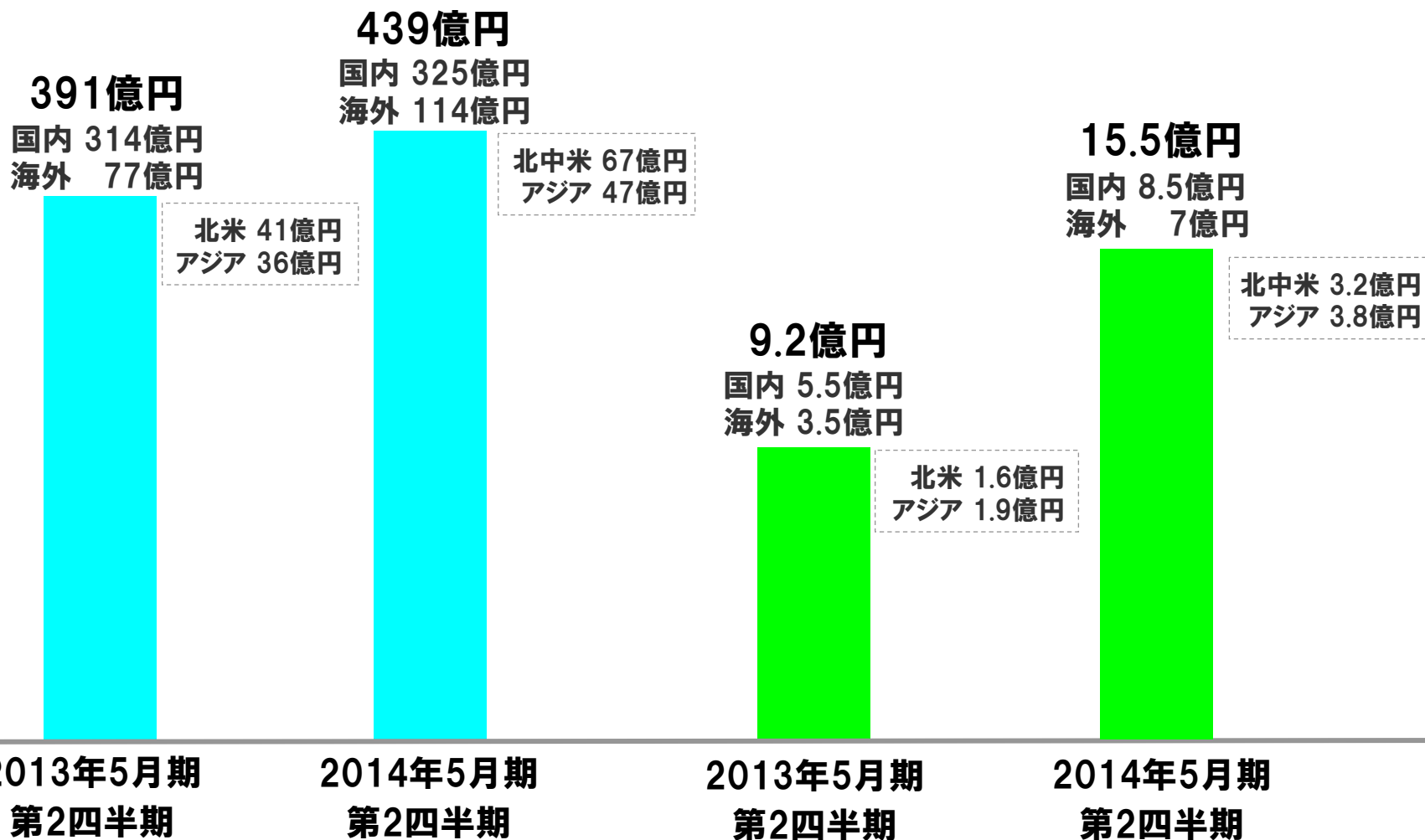
### 海外

米国経済は緩やかに回復しているものの、欧州では債務問題に起因した景気低迷が長引き、また、中国は成長鈍化が明確になった。アセアン諸国では、マネーの流出から自国通貨安が進行して、これまでの高度成長にやや減速感が見られるものの、依然として高い伸びが期待されている。

# 2014年5月期第2四半期 売上高と営業利益の状況

## 連結売上高

## 連結営業利益



## ●Segment Information

連結売上高	当第2四半期	前年同期	前年同期比(%)	前年同期比(額)	
	インテリア	17,474	16,490	6.0%	983
	自動車・車両内装	23,533	20,012	17.6%	3,520
	機能資材	2,858	2,611	9.4%	246
	その他	61	47	29.0%	13
	セグメント合計	43,928	39,163	12.2%	4,764

営業利益	当第2四半期	前年同期	前年同期比(%)	前年同期比(額)	
	インテリア	260	146	77.5%	113
	自動車・車両内装	1,803	1,205	49.6%	598
	機能資材	120	198	△38.9%	△77
	その他	30	17	68.8%	12
	調整額	△663	△643	-	△20
セグメント合計	1,551	923	67.9%	627	

## カーペットを中心にカーテン、壁紙等を販売

(単位:百万円)

	2014年5月期 第2四半期実績	前年同期実績	増減額	増減率
連結売上高	17,474	16,490	983	6.0%増
連結営業利益	260	146	113	77.5%増

### オフィスビルや商業施設、ホテル向けの業務用カーペット

物件の受注が増加したこと等により、売上高は前年同期を上回った。特に、発売当初から高い評価を得ている循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS®(エコス)」は、国内のみならず海外への輸出も増加したことから、順調に売上を伸ばしている。

### 一般家庭向けカーペット、ラグマット

個人消費に持ち直しの動きが見られるものの、秋の深まりが遅かったこと等が影響し、売上高は前年同期を下回った。

### カーテン

主力の「U Life Vol.7」に加え、「Face」、「ディズニーシリーズ」、「DESIGN LIFE」が好調に売上を伸ばした結果、売上高は前年同期を上回った。

### 壁紙類

「ルノンホーム1000」と量産タイプの「マークII」がともに売上を伸ばし、前年同期を上回った。



U Life カーテン

## フロアカーペット、シート表皮材、天井表皮材等、自動車内装材をトータルで販売

車両内装分野を合わせた連結業績

(単位:百万円)

	2014年5月期 第2四半期実績	前年同期実績	増減額	増減率
連結売上高	23,533	20,012	3,520	17.6%増
連結営業利益	1,803	1,205	598	49.6%増

## カーペット事業

国内 円安効果で自動車輸出が好調に推移。新規車種の受注分の生産も開始した。

海外 米国だけでなく中国やアジアでの自動車販売の好調を受けて受注増となった。



マツダ 新型アクセラ

フロアカーペットやトランク用不織布など内装材を納入

## ファブリック事業

国内 エコカー補助金の効果があった前年同期に対して売上は伸び悩んだが、経費削減が奏功し、営業利益は前年同期を上回った。

海外 米国を中心に自動車販売が伸びたことや、中国での新規車種の受注等により、前年同期を大幅に上回る売上高となった。



ホンダ 新型フィット

シートファブリックや天井材および外装部材を納入



## 鉄道・バスにシート表皮材やカーペット、 リサイクル性に優れたシートクッション材「スミキューブ®」等を販売

### 鉄道車両向け

新規車両生産が停滞期を抜け、シートの受注が増加し、シート張替え工事も春先から回復傾向にあり、売上が好調に推移した。

### バス向け

バスの新車発注が増加し、特に大型バスの高級ゾーンでの需要が伸び、売上に寄与した。

そのほか、船舶向け内装材や航空機シートも受注が拡大し、売上に貢献した。

JR九州 ななつ星 in 九州  
織物・カーペット・カーテン・緞通などを納入  
[Photo by STUDIO NEXT 黛 宏幸]



## ホットカーペット、独自消臭加工技術によるフィルター等の販売や、太陽電池向けシリコンウエハ事業を展開

(単位:百万円)

	2014年5月期 第2四半期実績	前年同期実績	増減額	増減率
連結売上高	2,858	2,611	246	9.4%増
連結営業利益	120	198	△77	38.9%減

### ホットカーペット

急激な円安進行によるコストアップがあり、また、市況も大きな盛り上がりには欠けたため、生産台数ならびに売上、利益ともに前年同期に届かず減収減益となった。

### 消臭関連及び建材・土木資材関連

好調に推移し、売上、利益ともに伸長した。

### 太陽電池向けのシリコンウエハ事業

中超住江 デバイス・テクノロジー株式会社が事業を開始。



Tispaシリーズ 脱臭・消臭剤  
「香りでごまかさない 本当の消臭」

Balance Sheet	当第2四半期	前期末
<b>総資産</b>	<b>85,502</b>	80,090
現預金	7,117	7,403
売上債権	24,725	20,350
たな卸資産	13,650	12,126
その他の流動資産	3,489	3,860
有・無形固定資産	27,184	27,354
投資その他の資産	9,335	8,996
<b>総負債</b>	<b>51,133</b>	47,587
仕入債務	20,168	16,487
短期借入金	11,238	10,526
その他流動負債	4,870	4,548
長期借入金	4,429	4,957
その他固定負債	10,426	11,068
<b>純資産</b>	<b>34,369</b>	32,503
資本金	9,554	9,554
資本剰余金	2,652	2,652
利益剰余金	9,074	7,923
自己株式	<b>△355</b>	<b>△355</b>
有価証券評価差額金	2,527	1,973
土地再評価差額金	7,167	7,532
その他評価・換算差額	207	43
少数株主持分	3,541	3,180

## 売上債権と仕入債務

11月末が金融機関の休日で決済が12月となったため、売上債権は前期比4,375百万円増の24,725百万円、仕入債務は前期比3,680百万円増の20,168百万円となった。

## たな卸資産

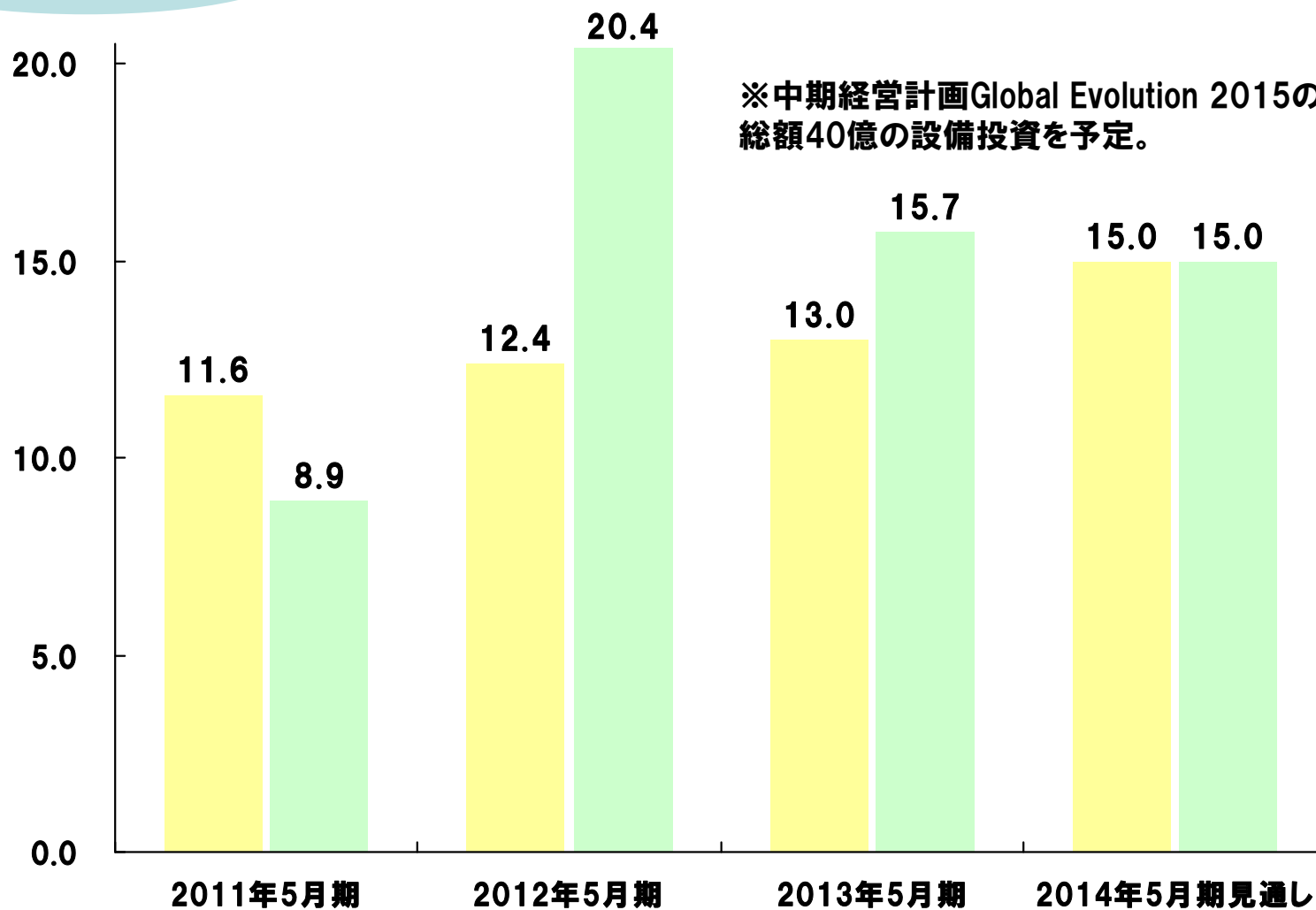
売上増加に伴い、国内ではインテリア事業、海外では米国STAの在庫が増え、また新たに中  
超住江 デバイス・テクノロジー株式会社が事業を開始したため、たな卸資産は前期比1,523百万円増の13,650百万円となった。

## 借入金(短期・長期)

STAの売上増加に伴い、借入金は短期・長期合わせて前期比184百万円増の15,667百万円となった。

## 減価償却費・設備投資

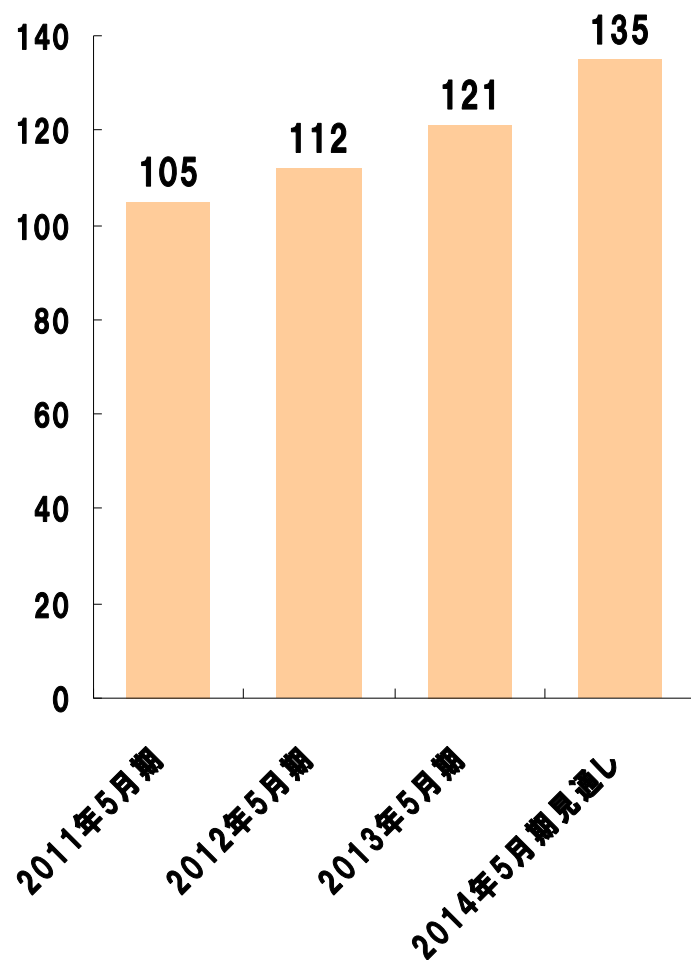
■ 減価償却費  
■ 設備投資額



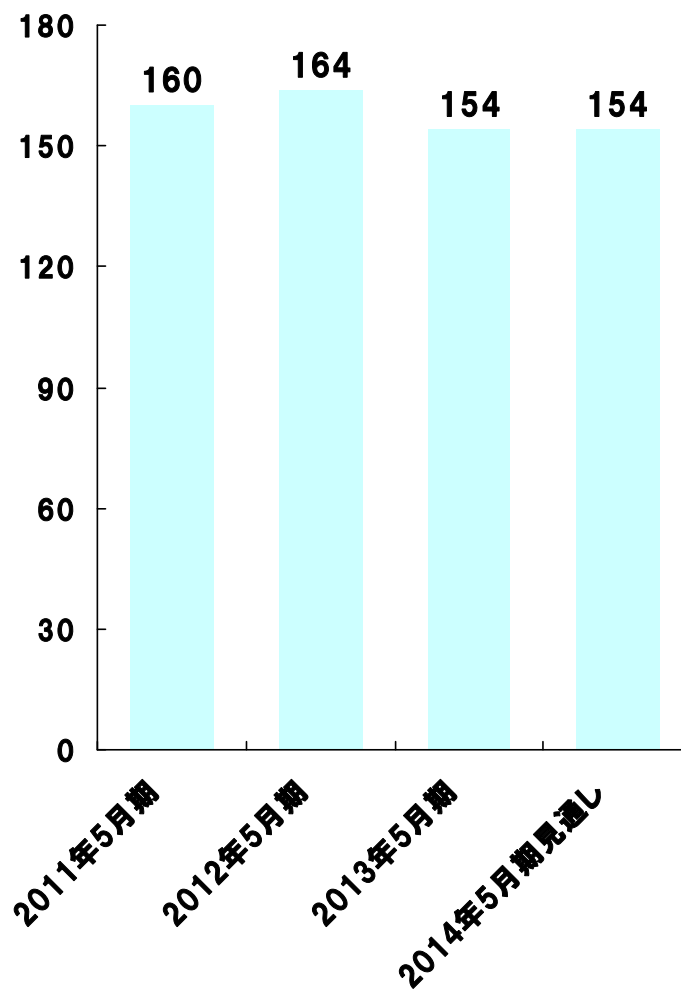
※中期経営計画Global Evolution 2015の3ヵ年で、総額40億の設備投資を予定。

Global Evolution 2015

## 在庫の状況



## 有利子負債



## 期初計画を据え置き

売上高 **850**億円

(2013年5月期 818億98百万円)

営業利益 **24**億円

( " 20億57百万円)

経常利益 **29**億円

( " 24億26百万円)

当期純利益 **18**億円

( " 8億20百万円)

## ■2014年5月期見通し

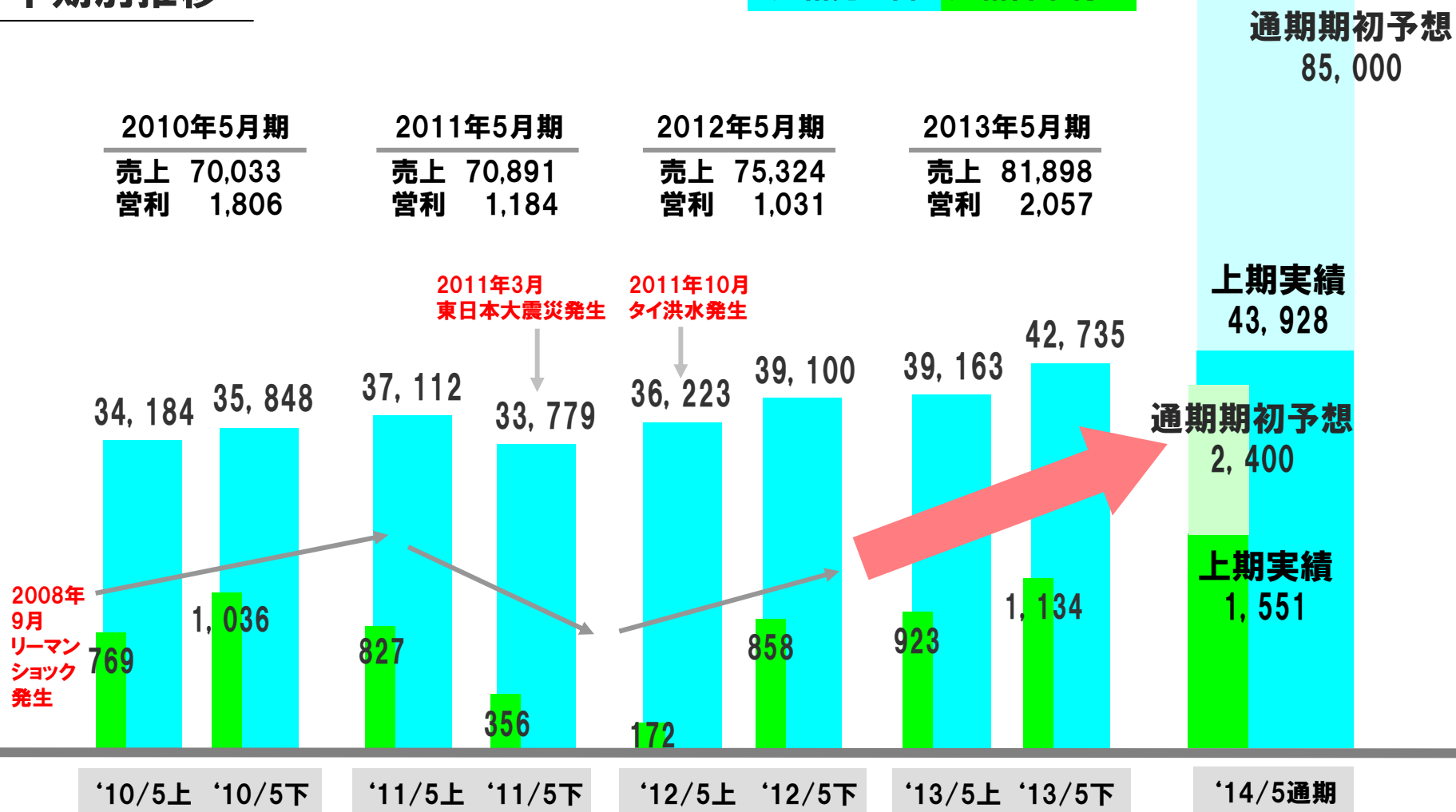
アベノミクス効果によって国内景気は緩やかに回復を続けているが、4月以降は消費税増税による駆け込み需要の反動減が予想される。

海外では南欧諸国の債務問題や新興国の成長鈍化が見られ、また、日中関係の悪化といった地政学的リスクも孕んでおり、先行きに不安材料が散見される。

以上のような状況を踏まえ、2014年5月期見通しは、2013年7月12日に発表した通期業績予想のままとする。

## 半期別推移

連結売上高 連結営業利益



Challenge 2012

Global Evolution 2015

### 期初計画を据え置き

		通期期初予想	前期	前期比(%)	前期比(額)
売上高	インテリア	35,600	33,727	5.6%	1,873
	自動車・車両内装	45,000	43,938	2.4%	1,062
	機能資材	4,300	4,129	4.1%	171
	その他	100	103	△2.9%	△3
	セグメント合計	85,000	81,898	3.8%	3,102

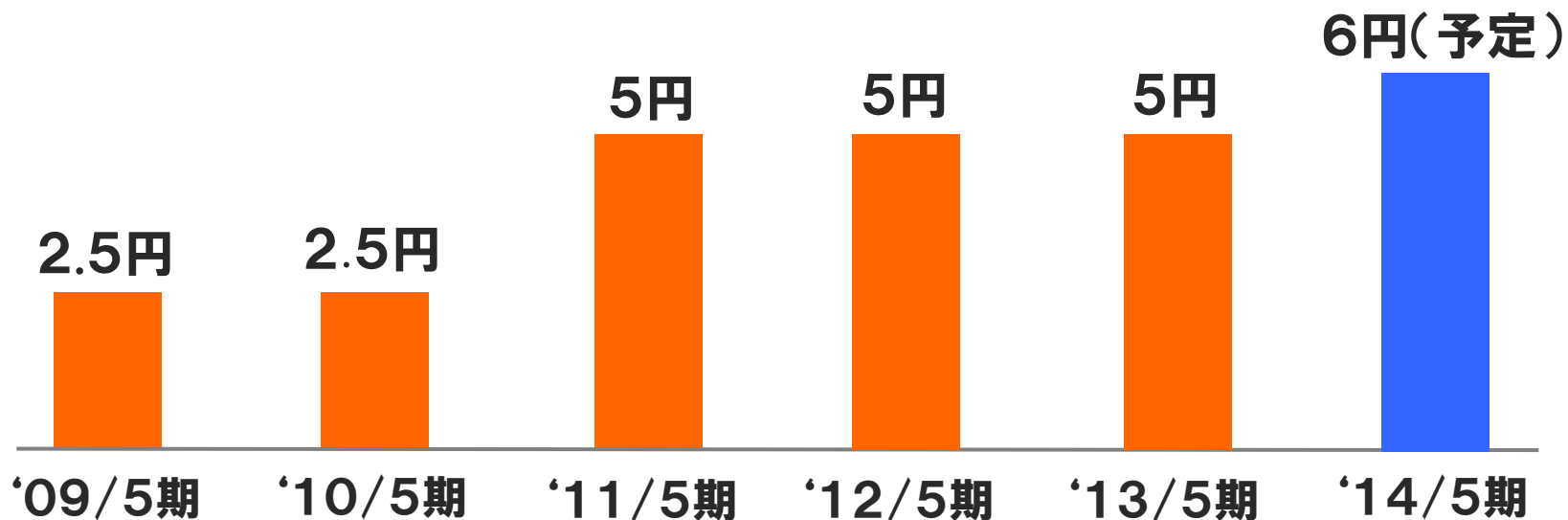
		通期期初予想	前期	前期比(%)	前期比(額)
営業利益	インテリア	700	585	19.7%	115
	自動車・車両内装	2,970	2,659	11.7%	311
	機能資材	90	77	16.9%	13
	その他	30	32	△6.3%	△2
	調整額	△1,390	△1,297	—	△93
	セグメント合計	2,400	2,057	16.7%	343



## ■2014年5月期について

- ・ 中間は2円50銭、期末は2円50銭に会社創立100周年記念配当として1円を加えた3円50銭とし、年間で6円の配当を計画しております。

## ■配当額の推移



2012年6月よりスタートした中期3ヵ年経営計画“Global Evolution 2015”の2年目を迎えた。

## 基本方針

- 海外展開を中心としたグローバル戦略
- 循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS®」を始めとする  
オンリーワン商品の積極的な展開

## 連結数値目標

### 3ヵ年の目標

- 売上高は100億円の増収
- 営業利益率3%以上

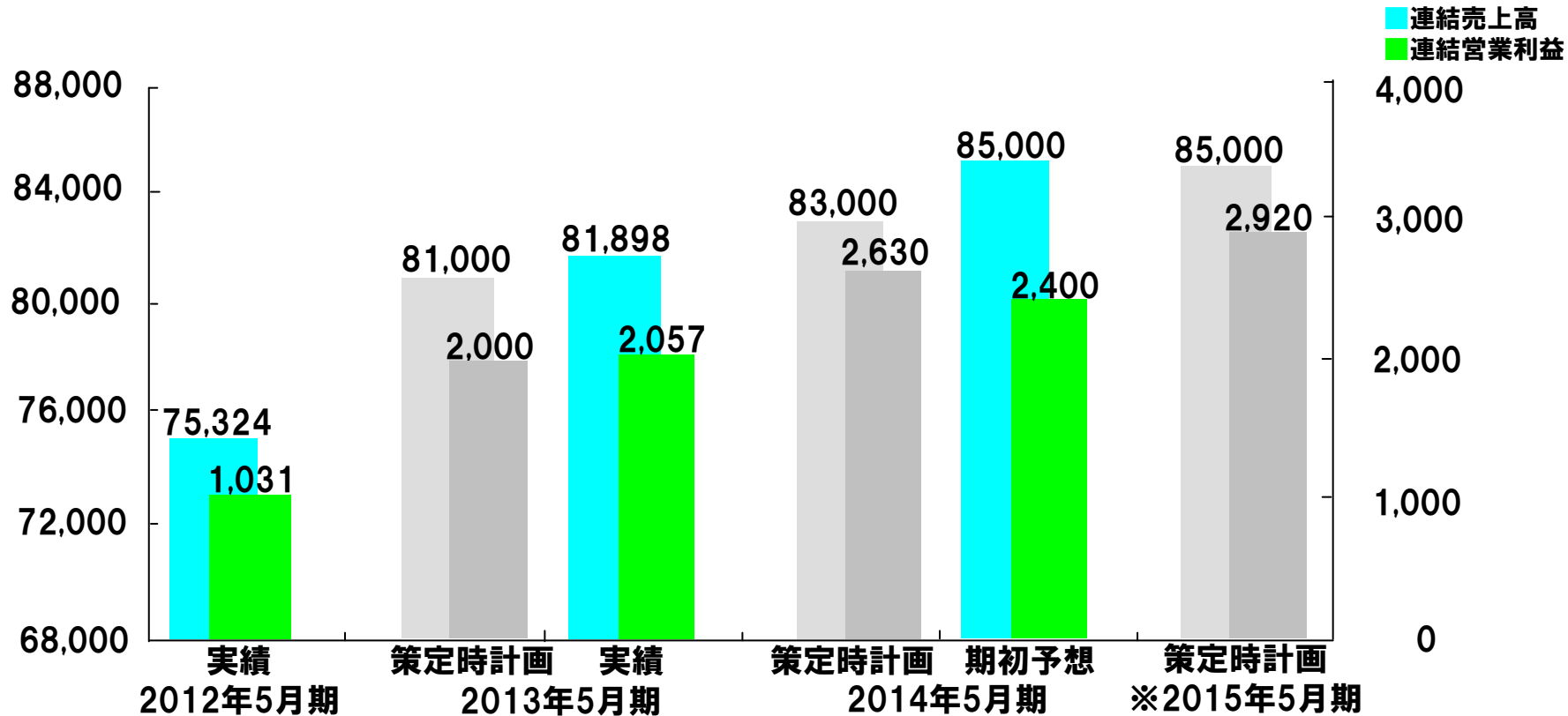
### 中長期の目標

- 営業利益率5%以上
- ROA(総資産経常利益率)6%以上

**市場シェアの拡大と利益率の向上を目指す**

# 中期3ヵ年経営計画 “Global Evolution 2015” (単位:百万円)

# 19



単位:百万円	2012年5月期		2013年5月期		2014年5月期		※2015年5月期	
	実績		策定時計画	実績	策定時計画	期初予想	策定時計画	
売上高	75,324	106.3%	81,000	81,898	83,000	85,000	85,000	
営業利益	1,031	1.4%	2,000	2,057	2,630	2,400	2,920	
経常利益	1,265		2,350	2,426	2,980	2,900	3,290	
当期純利益	626		1,500	820	2,000	1,800	2,200	
ROE(自己資本当期純利益率)	2.4%		5.6%	3.0%	7.2%	6.4%	7.6%	
ROA(総資産経常利益率)	1.7%		3.1%	3.1%	3.8%	3.6%	4.2%	

※2015年5月期は、Global Evolution 2015発表時(2012年7月24日)の数値です。

資源を未来へ。



LCA日本フォーラムが主催する平成25年度「第10回LCA日本フォーラム表彰」において、「水平リサイクルタイルカーペットECOS(エコス)シリーズの開発と普及」の取り組みが評価され、「LCA日本フォーラム奨励賞」を受賞しました。

## 受賞ポイント

- タイルカーペットへ環境効率を適用し、リサイクル効果をLCA手法を活用し数値として明確に社会に示し、水平リサイクルをプラス効果として社会にアピールした。
- 製品の水平リサイクルは大変障壁が高いが、果敢に挑戦し着実に市場へ普及させた。



## 第10回LCA日本フォーラム表彰 奨励賞受賞

- ・一般社団法人日本自動車タイヤ協会
- ・キヤノン株式会社
- ・武田薬品工業株式会社
- ・住江織物株式会社



LCA日本フォーラム

Life Cycle Assessment Society of Japan (JLCA)

- LCA日本フォーラムとは  
1995年に設立された、わが国におけるライフサイクルアセスメント(LCA)に係わる産業界、学界、国公立研究機関の関係者が集うプラットフォームです。

## グローバルマップ

2013年、メキシコとインドネシアで自動車用マットの生産拠点を設立しました。現在海外グループ会社は9社10拠点となり、グローバルサプライヤーとしての体制強化を図っております。

当事業の海外売上高比率は年々高まっており、現在では当事業の売上高の約半分を占めております。



<b>社名</b>	Suminoe Textile de Mexico, S.A. de C.V.
<b>設立</b>	2013年 5月
<b>生産開始</b>	2013年12月
<b>所在地</b>	Irapuato, Guanajuato, メキシコ
<b>資本金</b>	約60万ドル
<b>出資割合</b>	Suminoe Textile of America Corp. 100%
<b>業務内容</b>	自動車用マットの生産

日系自動車メーカーの増産・新設が見込まれるメキシコに製造拠点を設け、メキシコ国内はもとより、北米向けの自動車用マットの受注拡大を目指します。

<b>社名</b>	PT. SUMINOE SURYA TECHNO
<b>設立</b>	2013年10月
<b>生産開始</b>	2013年12月
<b>所在地</b>	Jalan Industri II No. 20, Leuwigajah, Cimahi, Bandung <b>インドネシア</b> (シナール社工場敷地内新設工場を貸借)
<b>資本金</b>	50万ドル
<b>出資割合</b>	当社51% PT. SINAR CONTINENTAL 49%
<b>業務内容</b>	自動車用マットの生産

インドネシア及びアセアン地区向けの自動車用マットの生産拠点を確立すると共に、他商材の輸出入を含めたグローバル供給体制を目指します。

再生エネルギー市場への参入

# 太陽電池向け シリコンウエハ加工事業を開始

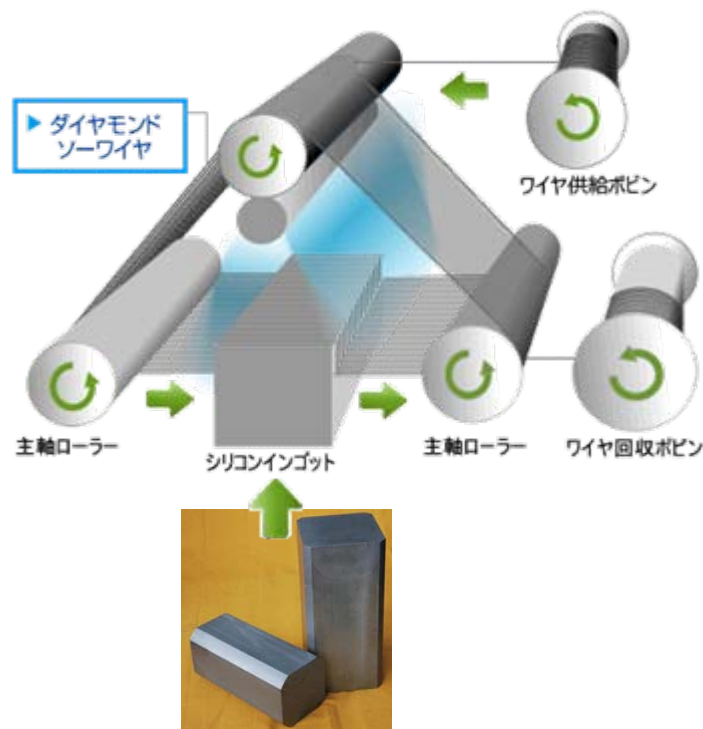




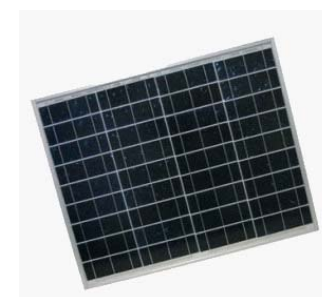
当社と株式会社中村超硬は、  
「**中超住江 デバイス・テクノロジー株式会社**」を合併で設立し、  
太陽電池向けシリコンウエハのスライス事業を開始しました。

## シリコンウエハ製造工程

中村超硬が生産する超細線かつ高品質なダイヤモンドソーワイヤでシリコンインゴットをスライス加工



シリコンウエハ



太陽光パネル

シリコンウエハ製造  
太陽電池製造における最重要工程のひとつ

**社名** 中超住江 デバイス・テクノロジー株式会社

**事業開始** 2013年9月1日

**本社所在地** 大阪市中央区南船場3-11-20

**工場所在地** 大阪府和泉市あゆみ野2-3-7

**資本金** 310百万円

**出資割合** 当社50.1% 中村超硬49.9%

**業務内容** シリコンウエハの加工および販売 各種電子材料の加工および販売  
各種機械・部品・装置等の製造および販売 リサイクル技術の開発および販売

**2014年5月期見通しは、売上高約10億円を見込む**

**国内外で成長が期待される太陽電池関連事業に進出し、  
クリーンエネルギーの発展に貢献してまいります。**